



## 2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月27日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 久田 宗弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷 寿人 TEL 03-5764-5214  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月4日 配当支払開始予定日 2019年11月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第2四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	227,867	△1.8	12,678	△2.1	12,455	1.0	8,486	4.1
2019年2月期第2四半期	231,986	△0.3	12,948	△3.8	12,333	△6.2	8,148	△4.2

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 7,174百万円 (△25.0%) 2019年2月期第2四半期 9,566百万円 (14.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	63.48	55.02
2019年2月期第2四半期	59.10	51.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	437,493	193,918	44.3
2019年2月期	415,684	188,404	45.3

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 193,918百万円 2019年2月期 188,404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	13.00	—	14.00	27.00
2020年2月期	—	14.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	449,500	0.8	23,000	9.5	22,600	13.5	14,000	14.3	104.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	142,615,404株	2019年2月期	142,575,035株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	8,782,710株	2019年2月期	8,972,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	133,684,816株	2019年2月期2Q	137,871,135株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
商品別売上情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境には回復基調が見られるものの、設備投資や輸出が弱含み企業収益に減速傾向が見られました。また、長期化する米中の貿易摩擦や英国EU離脱問題、中東や朝鮮半島情勢の緊迫化など先行きについては不透明感が高まりつつあります。

小売業界におきましては、先行きへの不安も伴い個人消費は力強さに欠け、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については6店舗、退店については4店舗を実施しました。これにより当第2四半期連結会計期間末日現在の店舗数は673店舗（DCMカーマ167店舗、DCMダイキ156店舗、DCMホームマック296店舗、DCMサンワ32店舗、DCMくろがねや22店舗）となりました。

販売面においては、天候不順や梅雨明けが遅かったこともあり、園芸用品や夏物商品が低調となりました。一方、消費税増税前の駆け込み需要により、リフォーム等の高単価商品が好調に推移しました。DCMブランド商品については、商品開発・販促強化等に取り組んだ効果もあり好調に推移しました。

お客さまへのサービス向上を目的として、DCMグループ全店舗とDCMオンラインで利用できる共通会員サービス「マイボ」を、2019年6月1日より開始し、3ヶ月間で307万人のお客さまにご加入いただきました。さらにお客さまが便利に安心してお買い物いただけるよう、電子マネーなどのキャッシュレス決済拡充への取組みをすすめてまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,278億6千7百万円（前年同期比98.2%）、営業利益は126億7千8百万円（前年同期比97.9%）、経常利益は124億5千5百万円（前年同期比101.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84億8千6百万円（前年同期比104.1%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、10ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

## (主要商品部門別の状況)

## ① 園芸部門

植物や園芸用品は、春先の気温が低かったことや長梅雨の影響もあり、全般的に低調となりました。一方、梅雨明け以降は、よしず、除草用品、水で膨らむ土のう袋などがDCMブランド商品を中心に好調に推移しました。その結果、売上高は370億5千6百万円（前年同期比95.3%）となりました。

## ② ホームインブルーメント部門

期間を通じて合羽、長靴等が低調となりました。また、前年は大阪北部地震、西日本豪雨による復旧需要があったことから、建築資材、作業用品、防災用品などが反動減により低調となりました。一方、品揃えを強化したDCMブランド商品の電動工具、ファン付き作業服は好調に推移しました。その結果、売上高は447億4百万円（前年同期比98.9%）となりました。

## ③ ホームレジャー・ペット部門

市場のトレンドの変化などによりペット用品が低調となりました。一方、アウトドア用品は、品揃えや売場提案を強化したことにより好調に推移しました。その結果、売上高は346億8千4百万円（前年同期比98.1%）となりました。

## ④ ハウスキーピング部門

日用消耗品等については、価格訴求型から提案型へ売り方の変更をすすめたことにより、売上高は前年を下回りましたが、売上総利益は伸長しました。その結果、売上高は529億5千7百万円（前年同期比95.4%）となりました。

## ⑤ ホームファニッシング部門

梅雨明け後はすだれ、夏物寝具、い草ラグなどは好調に推移しましたが、梅雨寒が長引いたことにより、季節商品は全般的に低調となりました。一方、オフィス家具は好調に推移しました。その結果、売上高は131億5千2百万円（前年同期比94.5%）となりました。

## ⑥ ホームエレクトロニクス部門

梅雨明け後の猛暑の影響もあり冷房用品や空調機器が好調となりました。また、消費税増税前の駆け込み需要を狙い売場展開したリフォームやエクステリア商品、家電などが好調に推移しました。その結果、売上高は200億3千9百万円（前年同期比100.4%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因により売掛金や商品在庫が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して218億8百万円増加し、4,374億9千3百万円となりました。

負債残高は、借入金が増加した一方、季節的要因により買掛金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して162億9千5百万円増加し、2,435億7千4百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払やその他有価証券評価差額金の減少の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して55億1千3百万円増加し、1,939億1千8百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (キャッシュ・フローの状況)

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益122億7千9百万円に、当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったことなどによる仕入債務の増加額222億5千0百万円、減価償却費58億1千9百万円を加算する一方、季節的要因によるたな卸資産の増加額49億4百万円、売上債権の増加額47億4千4百万円、法人税等の支払額41億1千7百万円を減算するなどして、278億8千3百万円の収入（前年同期は186億4千6百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店や改装などの有形固定資産の取得による支出20億4千9百万円、ソフトウェアなどの無形固定資産の取得による支出11億6千6百万円などにより、23億3千9百万円の支出（前年同期は65億2千7百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減16億円、長期借入金の返済による支出44億3千7百万円、配当金支払いによる支出18億7千2百万円などにより、71億7千1百万円の支出（前年同期は83億8百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ183億7千2百万円増加し、341億1千3百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月12日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,763	34,147
受取手形及び売掛金	13,500	18,244
リース投資資産	2,631	2,532
商品	97,199	101,985
その他	7,786	7,328
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	136,882	164,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	221,938	223,452
減価償却累計額	△128,275	△131,776
建物及び構築物(純額)	93,662	91,675
土地	80,851	80,719
リース資産	18,261	18,554
減価償却累計額	△4,790	△4,884
リース資産(純額)	13,470	13,670
建設仮勘定	607	843
その他	39,958	40,433
減価償却累計額	△31,851	△33,025
その他(純額)	8,107	7,408
有形固定資産合計	196,699	194,317
無形固定資産		
のれん	1,320	1,173
借地権	6,451	6,453
ソフトウェア	5,225	5,633
その他	235	231
無形固定資産合計	13,233	13,491
投資その他の資産		
投資有価証券	20,346	18,648
敷金及び保証金	41,379	40,869
繰延税金資産	3,682	2,784
長期前払費用	2,670	2,417
その他	861	794
貸倒引当金	△70	△70
投資その他の資産合計	68,868	65,445
固定資産合計	278,801	273,253
資産合計	415,684	437,493

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,130	39,738
電子記録債務	18,752	30,395
短期借入金	27,550	25,950
1年内返済予定の長期借入金	8,823	6,678
リース債務	744	976
未払法人税等	4,282	3,510
賞与引当金	2,243	1,140
役員賞与引当金	—	5
ポイント引当金	642	1,083
その他	13,306	14,714
流動負債合計	105,476	124,194
固定負債		
社債	10,000	10,000
新株予約権付社債	19,884	19,845
長期借入金	63,689	62,396
リース債務	15,678	15,719
繰延税金負債	1,639	1,157
再評価に係る繰延税金負債	147	147
役員株式給付引当金	84	82
退職給付に係る負債	267	259
資産除去債務	1,941	1,960
長期預り金	5,282	5,222
その他	3,187	2,589
固定負債合計	121,803	119,380
負債合計	227,279	243,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,058	10,077
資本剰余金	45,135	45,155
利益剰余金	140,015	146,618
自己株式	△8,985	△8,802
株主資本合計	186,223	193,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,991	2,721
繰延ヘッジ損益	21	△5
土地再評価差額金	△1,935	△1,935
退職給付に係る調整累計額	103	88
その他の包括利益累計額合計	2,181	869
純資産合計	188,404	193,918
負債純資産合計	415,684	437,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	228,447	224,213
売上原価	153,110	150,643
売上総利益	75,337	73,570
営業収入		
不動産賃貸収入	3,538	3,653
営業総利益	78,876	77,224
販売費及び一般管理費	65,928	64,545
営業利益	12,948	12,678
営業外収益		
受取利息	103	85
受取配当金	105	112
為替差益	132	164
持分法による投資利益	—	267
その他	185	212
営業外収益合計	525	842
営業外費用		
支払利息	989	957
持分法による投資損失	64	—
その他	86	107
営業外費用合計	1,140	1,065
経常利益	12,333	12,455
特別利益		
固定資産売却益	17	0
受取保険金	411	—
子会社清算益	—	60
その他	—	0
特別利益合計	429	60
特別損失		
固定資産除売却損	153	109
減損損失	2	14
賃貸借契約解約損	—	25
投資有価証券評価損	—	70
災害による損失	441	10
その他	84	5
特別損失合計	681	236
税金等調整前四半期純利益	12,081	12,279
法人税、住民税及び事業税	3,570	2,844
法人税等調整額	362	948
法人税等合計	3,932	3,792
四半期純利益	8,148	8,486
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,148	8,486

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	8,148	8,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,185	△1,202
繰延ヘッジ損益	21	△26
退職給付に係る調整額	△20	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	232	△69
その他の包括利益合計	1,417	△1,311
四半期包括利益	9,566	7,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,566	7,174
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,081	12,279
減価償却費	5,991	5,819
減損損失	2	14
のれん償却額	147	147
賞与引当金の増減額(△は減少)	△566	△1,103
受取利息及び受取配当金	△208	△198
支払利息	989	957
固定資産除売却損益(△は益)	135	109
持分法による投資損益(△は益)	64	△267
売上債権の増減額(△は増加)	△12,438	△4,744
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,728	△4,904
仕入債務の増減額(△は減少)	15,476	22,250
その他	386	1,016
小計	20,331	31,377
利息及び配当金の受取額	290	279
利息の支払額	△987	△956
法人税等の支払額	△2,353	△4,117
法人税等の還付額	1,365	1,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,646	27,883
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,129	△2,049
有形固定資産の売却による収入	100	167
無形固定資産の取得による支出	△1,130	△1,166
敷金及び保証金の差入による支出	△348	△417
敷金及び保証金の回収による収入	995	906
投資有価証券の取得による支出	△11	△111
貸付金の回収による収入	24	30
子会社の清算による収入	—	187
その他	△28	113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,527	△2,339
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	△1,600
長期借入れによる収入	5,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△7,380	△4,437
自己株式の取得による支出	△3,985	△1
配当金の支払額	△1,817	△1,872
その他	△224	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,308	△7,171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,811	18,372
現金及び現金同等物の期首残高	11,860	15,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,672	34,113

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	66,696	46,843	94,922	23,524	231,986	—	231,986
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	2	5	25,784	25,872	△25,872	—
計	66,775	46,846	94,927	49,309	257,859	△25,872	231,986
セグメント利益	4,149	2,628	5,235	3,078	15,092	△2,143	12,948

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)並びにDCMくろがねや(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,143百万円は、セグメント間取引消去△2,143百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	64,479	43,887	93,823	25,676	227,867	—	227,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	2	5	28,580	28,669	△28,669	—
計	64,558	43,890	93,828	54,257	256,536	△28,669	227,867
セグメント利益	3,699	2,062	6,022	3,907	15,692	△3,014	12,678

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)及び(株)マイポフォーズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△3,014百万円は、セグメント間取引消去△3,012百万円、その他△1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 補足情報  
商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第2四半期 連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸	38,885	17.0	37,056	16.5	61,626	14.0
ホームインプルーブメント	45,206	19.8	44,704	19.9	90,097	20.5
ホームレジャー・ペット	35,367	15.5	34,684	15.5	64,775	14.8
ハウスキーピング	55,539	24.2	52,957	23.7	106,935	24.3
ホームファニシング	13,923	6.1	13,152	5.9	26,677	6.1
ホームエレクトロニクス	19,951	8.7	20,039	8.9	46,835	10.7
その他	15,482	6.8	15,950	7.1	32,698	7.5
ホームセンター事業計	224,356	98.2	218,544	97.5	429,645	97.9
商品供給高	4,091	1.8	5,668	2.5	9,037	2.1
合計	228,447	100.0	224,213	100.0	438,683	100.0

- (注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。  
2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、屋外資材、植物他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器、住宅設備、エクステリア他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他

3. 第1四半期連結会計期間よりホームセンター事業の商品区分を一部変更したため、前年比較にあたっては、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度分を変更後の区分に組替えて表示をしております。